




太刀 銘井上真改



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	たち めいいのうえしんかい
所在地	岡山市北区一宮 吉備津彦神社
指定年月日	明治45年2月8日
解説	刃長69.7cm、反り1.8cm。身幅はやや細く優美。広直刃(ひろすぐば)で、よく練れた優美な地肌に匂いが極めて深い。井上真改は撰津の住人、大阪新刀の名工である。岡山藩主池田綱政が延宝6年(1678)に吉備津彦神社に奉納したものであり、糸巻太刀拵がついている。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀 銘井上真改
よみかた	たち めいいのうえしんかい
しょざいち (所在地)	岡山市北区一宮 吉備津彦神社
していつひ (指定した日)	明治45年2月8日
せつめい	日本刀(にほんとう)は、武器(ぶき)であるとともに、すぐれた美術品(びじゅつひん)として認(みと)められています。古くから刀工(とうこう)によって日本独自(どくじ)の作り方が受(う)けつがれています。この太刀(たち)は江戸時代(えどじだい)の岡山の殿(との)さまだった池田綱政(いけだつなまさ)が吉備津彦神社(きびつひこじんじゃ)にお供(そな)えしたものです。岡山県立博物館(おかやまけんりつはくぶつかん)で保管(ほかん)されています。